

# 伊達市公園施設長寿命化計画

平成 30 年 2 月

北海道伊達市 建設部都市住宅課

## 1. 都市公園整備状況

(平成 29 年 12 月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
35 箇所	37.16ha	10.69 m <sup>2</sup>

## 2. 計画期間 [平成 30 年度～平成 39 年度 (10 箇年)]

## 3. 計画対象公園

### ①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
23	2	1	1							2	8	37

### ②選定理由

伊達市では、都市公園の内、街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、都市緑地と、市内その他公園として一元管理しているものを対象として長寿命化計画を策定することとしているため、上に記載した公園を対象として選定しました。

なお、平成 22 年度策定公園施設長寿命化計画時の 32 箇所から新規策定公園として 5 箇所を追加しておりますが、一元管理している公園の内、現在都市計画公園外になっているものにつきましては近々に都市公園に編入することとしています。

#### 4. 計画対象公園施設

##### ①対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
1	8	303	176	148		35

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
258		34	963

##### ②これまでの維持管理状況

これまで公園施設（遊戯施設、公園施設、建築物等）を対象に、維持保全（清掃・保守・修繕）と日常点検を行っています。遊戯施設はこれらの管理に加え、国土交通省「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」及び社団法人日本公園施設業協会（JPFA）が策定した「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に基づき毎年 1 回の定期点検を実施している。この定期点検により危険箇所が発見された場合、緊急度の高いものから行ってきています。

##### ③選定理由

本市の公園は設置から 30 年以上経過した公園が約半数を占め、10 年後には約 7 割に達する見込みです。これまで公園施設更新はほとんど行われていないことから、公園施設の老朽化が顕著化してきています。対象公園施設としては、施設の劣化や破損により、重大な事故をもたらす恐れの高いものである、遊戯施設、園路広場、修景施設、休養施設、運動施設、便益施設、管理施設、建築物を選定しました。

## 5. 健全度を把握するための健全度調査結果の概要

点検調査は平成 29 年 3 月から平成 29 年 9 月までの期間に実施しました。

### 1. 一般施設、建築物

国土交通省の公園施設長寿命化計画策定指針に則り、健全度調査を実施しました。

健全度調査は一般施設 753 施設のうち予防保全型管理の候補とした 35 施設、建築物 34 施設について実施しています。

a. 一般施設 (35) : A 判定 4 施設、B 判定 16 施設、

C 判定 9 施設、D 判定 6 施設

b. 建築物 (34) : A 判定 10 施設、B 判定 24 施設、

C 判定 0 施設、D 判定 0 施設

### 2. 遊戯施設

JPFA の「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S : 2014」に則り、点検を実施しました。

a. 遊具等 (176) : A 判定 21 施設、B 判定 44 施設、

C 判定 73 施設、D 判定 38 施設

## 6. 日常的な維持管理に関する基本的方針

適切な維持管理計画に基づいた「予防保全的管理」を実施していきます。

- 日常点検は、巡回時または適宜実施します。但し遊戯施設は月 1 回以上とします。
- 定期点検は、本格的な公園利用開始時期に向け、利用者の増加に備えた施設の安全確保、また冬期間における施設の変状等の確認として、2~3 月に実施します。

## 7. 公園施設の長寿命化のための基本方針

- 安全で快適な公園及び公園施設整備により、公園利用者が安心できる都市公園を市民に提供します。
- 円滑な維持管理計画により、中・長期的な将来を見越した計画とします。
- 計画的な安全点検及び補修による「予防保全的管理」により、施設機能の向上や保持、さらにはライフサイクルコストの縮減をはかります。
- 公園周辺の社会条件や地域住民ニーズに沿った効果的な補修・更新計画とします。
- 当該計画に基づく長寿命化計画を進めながら、公園施設の利用状況、劣化進捗度、経済状況などを勘案し、適宜見直しに努めるものとします。

8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容、時期等  
※別添「公園施設長寿命化計画調書」（様式1「総括表」、様式2「都市公園別」、様式3「公園施設種類別現況」）による。

## 9. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

今回長寿命化計画を策定した公園における10年間での  
ライフサイクルコスト縮減額は354千円です。